

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 6年12月18日更新

事務事業名		栄典(叙位、叙勲)事務事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展				
総合計画体系	政策	1	自治の健幸		所属部	市長公室	課長名	栗木 清智	
	施策	2	行政経営の推進・改革		所属課	秘書政策課	担当者名	後藤 啓介	
	業務分野	5	職員の人材育成と効果的な組織運営		所属班	秘書政策班	(内線)	1232	
予算科目		会計一般	款	項	目	事業連番	法令根拠		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公選による市町長、市町議会議員など、推薦要件を満たしている対象者について、地方自治功労関係(春秋叙勲・高齢者叙勲・死亡叙勲、叙位、褒賞)の上申を行う。</li> <li>市の発展に卓越した功績があり、郷土の誇りとして尊敬に値する者に対し、名誉市民、市民栄誉賞を授与する。</li> </ul>
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>春秋叙勲潜在候補者の作成報告(春4月29日現在、秋11月3日現在)</li> <li>①春秋(高齢者)叙勲:候補者の推薦(履歴照会等)、候補者決定後の上申(功績調書、履歴書、刑罰調書、事業概要調書等の作成)、決定後の伝達</li> <li>②死亡叙勲、叙位:死亡後具への連絡、1週間以内に上申(功績調書、履歴書、刑罰調書、事業概要調書等の作成)、決定後遺族へ連絡叙勲(叙位)の伝達</li> <li>③褒賞:公益のため私財を寄附し功績顕著な団体・個人に対し、寄附受領後速やかに上申</li> <li>・名誉市民:市長が市議会の同意を得て選定</li> <li>・市民栄誉賞:選考委員会において選考し、市長が決定</li> </ul>
【主な予算費目】	予算なし

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

・叙勲の潜在候補者を報告するとともに、高齢者叙勲、死亡叙勲の上申を行った。  
 平成26年度実績3名  
 平成27年度実績2名  
 平成28年度実績2名  
 平成29年度実績3名  
 平成30年度実績3名  
 令和元年度実績1名  
 令和2年度実績なし  
 令和3年度実績2名  
 令和4年度実績1名  
 令和5年度実績1名  
 令和6年度実績1名

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

・叙勲の潜在候補者を報告するとともに、地方自治功労への該当者の関係書類を作成し上申を行う。

③予算の主な増減の理由

成果指標

ア 申請に対する受賞者の割合

(単位)

%

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	見込
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	
ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円								
(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

国基準に則り適正に事務を行っている

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)